

平成28年7月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成28年7月21日(木)

II. 開会及び閉会
開会 13時00分
閉会 14時56分

III. 出席委員

教 育 長	柴 崎 伸 次
委 員	淵 本 晴 生
委 員	水 野 勝 紀
委 員	川 島 ゆ か
委 員	片 山 工

IV. 出席職員

職 名	氏 名
教 育 次 長	近 成 昌 行
総務学務課長	青 山 祐 志
中央公民館長	今 吉 崇 文
社会教育課課長補佐	頓 宮 忍
総務学務課総括主幹	浦 上 巧
総務学務課課長補佐	井 上 二 三 代
総務学務課係長	近 藤 の ぞ み
市民図書館主査	横 山 ひ ろ み

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

柴崎教育長

- 学力・学習状況調査について
- 問題行動調査について
- 社会教育委員会議(7/7)について
- 県教育長との意見交換会(7/5)について
- ポーランド国立ワルシャワ考古学博物館における日本刀展について
- 子ども寺子屋等(8/23~25)について

3. 前回会議録の承認

署名委員 川島 ゆか 委員 片山 工 委員

4. 議 事

柴崎教育長 議事進行

柴崎教育長 第 36 号議案については個人情報ということで、非公開とすることを提案する。

全 委 員 <異議なし>

第 35 号議案 臨時職員の採用等について

青山課長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

柴崎教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第 36 号議案 準要保護児童生徒の認定について

< 非公開 >

柴崎教育長 非公開審議を終了することを宣する。

第 37 号議案 平成 27 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告について

頓宮課長補佐 (資料を基に変更箇所について説明)

川島委員 評価が B に変わった理由が記載されていない。

頓宮課長補佐 全体の事業としては完了しているので、特に落ち度があるというものではないが、事務の進捗状況として不手際があったということなので、内容自体とここに記載すべきものではないと考えている。

川島委員 どうして落ちたのか、これを見ただけでは分からない。

片山委員 26 年度の記述とそんなに変わっていないのに、B から A、A から B へ変わっているのはおかしい。

淵本委員 26 年度までは、自己評価の右側に欄があったが、27 年度からなくなっているの、理由が分からない。

柴崎教育長 事務事業が遅れたことと、事業が完結したことは、切り離すべきではないかと思う。教育委員会としては、事業はできたのではないか。背景にあるから、それを B に落としたという理屈とは違うのではないか。

頓宮課長補佐 内容のA評価の基準の一つの要素として、しっかりとした事務事業の進捗というものも加味されるべきではないかと判断した。それを切り離すのであれば、A評価で問題はないと思うが、全体の業務としての出来具合からいうと、A評価、十分達成できたというところには到達していないという判断をしていたということである。

柴崎教育長 課題とかにかける中身には適さないのではないかと思います。

近成次長 課題のところへ、事務事業の遅れが生じた等の表現を付け加えてみてはどうか。

柴崎教育長 評価を変えるのであれば、課題のところに書くか、書かないのであれば、評価を元に戻すということで、整理したうえで外部評価にかけさせていただく

水野委員 (文章中の字句の追加、文章表現の修正及び統一性について指摘、提案)

淵本委員 (文章中の字句の追加、文章表現の修正及び統一性について指摘、提案)

川島委員 点検・評価に係わる立場上、取組(研修会とか勉強会等)が有効に取り組まれているかどうかを実際に見える範囲で見たいと思った。

それから、学校給食のところで栄養教諭だけならA評価でいいと思うが、教育委員会自体は、これに対してA評価もらえるまで力を入れているのか疑問である。

片山委員 共通支援シートであるが、これは指導要録を補完するものか、それとも、それに代わるものなのか、関連がよくわからない。

それから、7ページの課題のところで、3年連続で「専任の図書館司書が2名不足している」という表記となっているので、ぜひ28年度は標記が変わるよう対応してほしい。

柴崎教育長 先ほどの7ページの表記の件であるが、「2校兼務になっており」というようなことを書かないと、欠員なのかと見られるので、表現方法を変える必要があると思う。

それから、11ページの地産池消の件であるが、学校給食は教育委員会からすれば安全安心で安定的であることが必要であるが、そういう立場で教育委員会としてするのであれば、地産池消にどっぷり係わるというのは本当に適切なのかどうかということを十分検討しなければいけないのかなと思う。要するに安全で安心なものを安定的に提供してもらわなければ、給食は提供できないので、流過程に教育委員会が関わることが本当に良いのかどうか検討しなければならないと思う。

それから、12ページの課題のところで、同意のことが出ていたが、今後の方向性のところに文科省の去年の1月のガイドラインが引用されているが、その中で小規模校としての存在意義というか、デメリットをなくしてということを言われて、議会でもそういう意見がある。

財政論からいくと、適正規模だけが先行して統廃合だという意見を聞

くが、小規模校の魅力とか、どれだけ効果があるかということを出して
いかなければならないということを再三、校長にはお願いしている。そ
ういったことから考えると、課題のところは、こういうふうにとさらっと
書くのではなく考えなければいけないし、教育委員会の中でも、今後、
ここは十分検討していかなければならないと思うので、またご相談させ
ていただく。

文章表現や整合性を図りながら、外部評価をお願いする前に見え消し
の形でお送りさせていただくので、ご確認いただいたうえで、来月また
協議させていただくということの良いか。

全委員

<異議なし>

5. その他

淵本委員

学期に一度か二度ぐらひは、心身ともに子ども達の様子、先生方の様
子を教えていただけるとありがたい。教育委員の立場で何か力になれる
ことがあるかもしれないので、できればお願いしたい。

川島委員

小規模の学校の特色とか、良いところを把握しておきたいので、実際
その場へ行って子供たちを見たり聞いたりして、地域の人とも関わりたい
と思う。

6. 閉 会 (14時56分閉会)